



飯田高校だより

第58号

令和5年(2023年)

3月23日

長野県飯田高等学校
教務係・学校評価委員会

「飯田高校だより」は、学校評価に関わる学校の情報を、保護者の皆様に来るだけわかりやすくお伝えすることを目的に年3回発行いたします。今号では12月末から年度末までの様子をお伝えします。学校評価については、各事業の「最終評価」と、学校関係者および内部評価アンケートの結果をお知らせいたします。

【学校行事】

第75回卒業証書授与式

3月2日(木)第75回卒業証書授与式が執り行われました。

第75期卒業生は入学してすぐ、およそ2か月の休校で高校生活がスタートしました。「普通の高校生活を送ることができなかった」—卒業生代表の佐藤峻さん(3E)の言葉にもあるように、在学中は新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、さまざまな部分でコロナの三文字に翻弄されながら「卒業アルバムを見て初めてマスクのない友人の素顔を知る」ような高校生活を余儀なくされました。

大きな制約がある中でも、高松祭ではできうる限りの工夫を凝らすなど、多くの行事と場面で本校に大きな足跡を残してくれました。また未曾有の事態の中でも「学校生活を思い切り楽しむこと」や「毎日学校に来て友人と会えること・他愛のない日常の尊さに気づけたこと」を伝えてくれました。



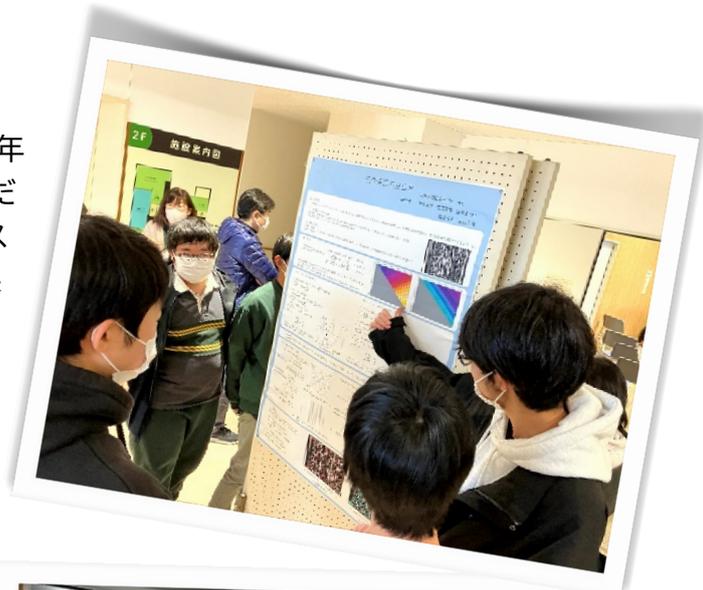
式当日は前夜からの初春の冷たい雨が降っていましたが、開式までに雨は上がり穏やかな初春の陽光に包まれました。卒業生諸君のこれまでの苦節と輝かしい前途を象徴するかのような一日となりました。



2学年理数科課題研究発表会

1月31日(火)に理数科課題研究発表会が行われました。今年度は上郷公民館で実施し、保護者の方たちにも見学していただきました。10月に行った中間発表の反省点を踏まえ内容やスライド、発表方法などが改善された発表になりました。自ら課題を設定し、答えがないものに対して答えを出すというこれから必要になってくる力が身に付いたと思います。

また、この発表会で代表になったグループが3月5日(日)に信州大学松本キャンパスで行われた信州サイエンスミーティングに参加し、優秀研究発表賞を受賞しました。



情報教育指導力向上事業

2月3日(金)文部科学省委託「高等学校情報教員指導力向上事業」の一環として、「日本のインターネットの父」とも呼ばれている 慶應義塾大学・村井純 教授を本校にお迎えし、1年B組の生徒を対象に「楽しいデジタル社会を創ろう!」と題してご講演をいただきました。



「なぜ、君たちは今情報を学ぶのか」という問いから始まり、日本・世界が抱える課題や、高校生の興味・関心とも結びつけながら、インターネットがどのように私たちの生活と結びつき、発展を遂げているのかを、分かりやすくユーモラスにご講演いただきました。当日の様子は、後日、文部科学省のYouTubeチャンネルから全国に向けて配信される予定で計画を進めていますので、よろしければそちらからご覧ください。以下、生徒の感想です。

今まで情報を学ぶことは、これからの社会で生きるために必要であるから「義務」として捉えていましたが、村井先生の講演を聞いて、情報は学ばなければならないものというより、自分の夢を実現したり、シミュレーションするための手段なのだと思います。また、生活を豊かにしてくれるものでもあったと分かりました。情報を学ぶことに価値を見出すことができました。

同窓会講演会



3月16日(木)、同窓会講演会が開催されました。講師の松岡裕之さん(高26回卒)は国内外で35年にわたりマラリアの研究をされた後、60歳を機に公衆衛生医として故郷・飯田に戻られました。高校時代からご自身の経歴を順に紹介いただきながら、その時々マラリア研究の様子、マラリア原虫のお話、公衆衛生的アプローチのお話など、興味深く、楽しいお話でした。去年は感染症対策でオンライン講演会でしたが、久しぶりに小体育館に1・2年生が揃って、講師のお人柄を身近に感じながら聴講することができました。

総合的な探究の時間の発表会

3月22日(水) 1学年と2学年において、金沢大学附属高等学校より外山康平先生、長野県教育委員会学びの改革支援課より高野芙美先生を講評者としてお招きして、総合的な探究の時間の発表会が行われました。今年度の「探究」は1学年ではクラスの枠を超えた同じ興味を持つグループに分かれて、2学年では各個人で昨年度の活動を更に深めながら、年間を通じて自分たちで設定したテーマの探究学習が行われました。この日は各ジャンルの代表1学年10グループ、2学年は10人が発表をしました。「集中力を維持するには」「民族音楽の特徴と私たちに与える影響」「飯田をブランディングして賑わいをつくろう」(以上1学年)「宇宙レベル1~現人類の文明とその進化~」「なぜ『書く』ことは無くないのか」(2学年)などといったテーマのプレゼンテーションはどれも興味深いものでした。1学年の発表会では最後に外山先生より「どのテーマも自分の好きという色が滲み出ているのを感じた。来年度は質的な研究と量的な研究の違いを意識できるとより一層学びが深まるのではないか」というアドバイスを含め、各グループにフィードバックと講評をいただきました。探究学習は他者に伝わって初めて意味を持つという言葉も大変印象的でした。



1学年理数科校外研修

1学年理数科は3月22日(水)に東京・上野にある国立科学博物館と東京国立博物館を見学してきました。2年次の理数探究に向けて様々な考察のヒントを得る機会となり、また芸術にふれることもできて、有意義な時間を過ごすことができました。



学校評価

令和4年度学校評価表目標達成のための事業評価及び、学校関係者評価アンケートを掲載します。なお、重点事業の最終評価は紙面の都合上、以下のURLまたは右のQRコードからご覧ください。

【令和4年度 学校評価表目標達成のための重点事業(最終評価)】

https://drive.google.com/file/d/1--zA960LUTj5XTpk9U-6bRX0jm7UOP0E/view?usp=share_link



【令和4年度 学校関係者評価アンケート(対象:学校評議員・PTA評議員)】

令和4年度 長野県飯田高等学校 学校関係者評価アンケート (学校評議員・PTA評議員)

| 評価項目 | 評価の観点と評価 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------------|--|-------|--------------|----------------|--------|-------|
| | | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない | わからない |
| 学校教育目標 | 1 いのちと人権を尊重して、いじめや暴力を許さない人間を育てる 2 幅広い活動を通じ、自主的、自立的、自律的な行動ができる心身ともに健全でたくましい人間を育む 3 個々に適した進路指導を行い自己理解を深めるとともに、自発的に学習する態度を育て、社会的視野を広げることを支援する 4 保護者や地域と連携し、安全・安心で信頼される、開かれた学校づくりを進める | | | | | |
| 今年度重点目標 | 1 いじめや暴力を許さない安心で、安全な環境づくりに努める 2 生徒のキャリア意識を醸成し、進路実現にむけた意欲的な学習活動を支援する 3 生徒の自主活動を支援し、自主性・自立性・自律性をかん養する 4 開かれた学校づくりを進める | | | | | |
| 安心で、安全な環境づくり | 1 教職員間で情報・指導の共有化ができたか | 9.1% | 59.1% | 9.1% | 0.0% | 22.7% |
| | 2 安全管理や危機管理意識を高める取り組みができたか | 22.7% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 27.3% |
| | 3 授業や特別活動を通じて、人権意識を高める取り組みができたか | 18.2% | 45.5% | 4.5% | 0.0% | 31.8% |
| | 4 安全・快適な学校環境づくりに努力ができたか | 36.4% | 59.1% | 0.0% | 0.0% | 4.5% |
| キャリア意識の醸成 | 5 教職員間で情報・指導の共有化ができたか | 27.3% | 36.4% | 4.5% | 0.0% | 31.8% |
| | 6 授業内容・方法を工夫し、生徒の学ぶ意欲を高める授業が実践できたか | 22.7% | 59.1% | 0.0% | 0.0% | 18.2% |
| | 7 基本的な生活習慣・自主的な学習習慣をつくるための指導ができたか | 31.8% | 40.9% | 9.1% | 0.0% | 18.2% |
| | 8 キャリア意識を醸成する実践が、授業や特別活動を通じてできたか | 27.3% | 36.4% | 9.1% | 0.0% | 27.3% |
| 生徒の自主・自立支援 | 9 生徒会やHR活動、班活動等で、生徒の自主性・自立性・自律性を高める支援ができたか | 27.3% | 63.6% | 0.0% | 0.0% | 9.1% |
| 開かれた学校づくり | 10 学校に関する各種情報が生徒や保護者、地域に適切に提供できたか | 18.2% | 63.6% | 9.1% | 0.0% | 9.1% |
| | 11 生徒や保護者、地域の意見・要望を積極的に把握し、それに対して適切に対応できたか | 13.6% | 54.5% | 9.1% | 0.0% | 22.7% |

【令和4年度 内部評価アンケート(対象:教職員)】

令和4年度 長野県飯田高等学校評価 内部評価 (対象:教職員)

①評価の欄に1～5の数字をご記入ください。

1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない 5 わからない

② それぞれの項目に関連することで、気が付いたことなど自由にご記入ください。

| | | | | | | |
|--------------|---|-------|-------|------|------|------|
| 学校教育目標 | 1 いのちと人権を尊重して、いじめや暴力を許さない人間を育てる 2 幅広い活動を通じ、自主的、自立的、自律的な行動ができる心身ともに健全でたくましい人間を育む 3 個々に適した進路指導を行い自己理解を深めるとともに、自発的に学習する態度を育て、社会的視野を広げることがを支援する 4 保護者や地域と連携し、安全・安心で信頼される、開かれた学校づくりを進める | | | | | |
| 今年度重点目標 | 1 いじめや暴力を許さない安心で、安全な環境づくりに努める 2 生徒のキャリア意識を醸成し、進路実現にむけた意欲的な学習活動を支援する 3 生徒の自主活動を支援し、自主性・自立性・自律性をかん養する 4 開かれた学校づくりを進める | | | | | |
| 評価項目 | 評価の観点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 安心で、安全な環境づくり | 1 教職員間で情報・指導の共有化ができたか | 35.7% | 64.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 2 安全管理や危機管理意識を高める取り組みができたか | 28.6% | 71.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 3 授業や特別活動を通じて、人権意識を高める取り組みができたか | 35.7% | 64.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 4 安全・快適な学校環境づくりに努力できたか | 42.9% | 57.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| キャリア意識の醸成 | 5 教職員間で情報・指導の共有化ができたか | 28.6% | 71.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 6 授業内容・方法を工夫し、生徒の学ぶ意欲を高める授業が実践できたか | 28.6% | 64.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 7 基本的な生活習慣・自主的な学習習慣をつくるための指導ができたか | 28.6% | 71.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 8 キャリア意識を醸成する実践が、授業や特別活動を通じてできたか | 21.4% | 78.6% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 生徒の自主・自立支援 | 9 生徒会やHR活動、班活動等で、生徒の自主性・自立性・自律性を高める支援ができたか | 28.6% | 71.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 開かれた学校づくり | 10 学校に関する各種情報が生徒や保護者、地域に適切に提供できたか | 7.1% | 85.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | 11 生徒や保護者、地域の意見・要望を積極的に把握し、それに対して適切に対応できたか | 7.1% | 78.6% | 7.1% | 0.0% | 0.0% |
| 目標設定 | 12 学校目標は適切であると思いますか | 42.9% | 57.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

部活動報告

【吹奏楽班】

長野県アンサンブルコンテスト 地区大会

| | |
|-----------|----|
| 金管8重奏 | 金賞 |
| サキソフォン5重奏 | 金賞 |
| クラリネット7重奏 | 金賞 |
| 管弦6重奏 | 銀賞 |

長野県アンサンブルコンテスト 県大会

| | |
|-----------|----|
| 金管8重奏 | 金賞 |
| クラリネット7重奏 | 金賞 |
| サキソフォン5重奏 | 銀賞 |

中部日本個人重奏コンテスト 選抜大会

| | |
|-------|----|
| 中島さくら | 金賞 |
| 池田真結 | 金賞 |
| 高坂瑠花 | 金賞 |

中部日本個人重奏コンテスト 県大会

| | |
|--------|--------|
| 中島さくら | 金賞 |
| 池田真結 | 金賞 |
| 高坂瑠花 | 銀賞 |
| 打楽器2重奏 | 金賞 県代表 |